

心の歌 夏の思い出

教科書 p.12

1 「夏の思い出」の作詞者と作曲者の名前を書きましょう。

作詞者〔 〕 作曲者〔 〕

2 各段の旋律の特徴について、下から用語を選び、表の〔 〕に書きましょう。

1段目	 <p>1なつがく れば おもいだす はるかなおぜ とおいそら</p> <p>〔 〕音符が主体となっている旋律。</p>
2段目	 <p>さりのな かに うかびくる やさしいかげ ののこみち</p> <p>〔 〕段目と同じ旋律だが、〔 〕と〔 〕が変化している。</p>
3段目	 <p>みずばしろう のは なが さいている ゆめみてさいている み ずのはとり</p> <p>〔 〕音から旋律が始まり、強弱やリズムが〔 〕に富んでいる。</p>
4段目	 <p>しゃくなげいーろに たそがれる はるかなおぜ とおいそら</p> <p>前半2小節は〔 〕段目とほぼ同じ旋律。後半は変化して終わる。</p>

1 2 4分 8分 強弱 伴奏の形 高い 変化

3 3段目の「さいている」は **pp** です。どんな声の音色で歌うとよいと思いますか。ア〜ウでよいと思うものに○を付けましょう。

- ア 弱々しくて、消えそうな、悲しい音色。
 イ 大切なものをそっと包みこむような、優しい音色。
 ウ 優しく見つめるような、温かい音色。

4 この曲の最後の2小節(「はるかな^{きげん}尾瀬 遠い空」)はどのように歌えばいいですか。工夫したい点と、その理由を書きましょう。